

どんぐり村の こみ・すく通信

令和7年7月10日発行 令和7年度第7号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その3>

更小2年生が更農高2年生の 支援を受けて花壇に花植え

6月11日(水)に、更別小学校2年生が、更別農業高校の生活科学科生活福祉コース2年生10名の生徒たちの支援を受けながら、花壇に花の苗を植えました。

植えた花は、マリーゴールド(赤・黄・オレンジ)とサルビア(赤・青)でした。植える前には、高校生が、模造紙に書いた説明図を使いながら丁寧に植え方を説明してくれました。その熱意が小学生に伝わったのか、作業はスムーズに進み、あちこちで楽しそうな会話が聞かれました。



小学生は、頼もしい高校生のサポートを受けて、貴重な体験ができ、一方、高校生にとっても、花を使ってのコミュニケーションを通じて、福祉で重要とされている「優しさ」を伝えることができたのではないのでしょうか。



▲花壇の前で、更小2年生と更農高2年生との集合写真

管内高校の交換留学生 と更中学生との交流

今年も、「AFS日本協会」という高校生の交換留学を主な活動とする団体のご協力のもとで、6月30日(月)に、十勝管内の高校に留学している高校生が、更別中央中学校1年生と3年生の英語科の授業で交流しました。

留学生は、アルゼンチンから来たアビー・カリーニョさんと、スイスから来たアラニス・レーブさんの2名です。

授業では、お互いに自己紹介をした後で、ゲームをしたり質問を出し合ったりしました。同世代に近い年齢の留学生だったこともあってか、生徒達の会話意欲も高まっていたようでした。また、英語で堂々と自信を持って話すことができた生徒も多く、終始笑顔が絶えない楽しい交流授業となりました。



▲自国での生活も含めて、自己紹介をする留学生



▲英語で堂々と自己紹介をする1年生